

木影山のブナ； 標高550メートル「雨嶽」。ここにはブナがあります。たくさんあるとは言えません。東西に伸びる比較的なだらかな尾根上に生育しています。立派な木が生えています。大きいブナ、穴のぶな、おっぱいブナ、それらがヒバ、天然杉、トチ、ハリブキ、コシアブラ、ベニイタヤ、アカダモ、クロベ、ミズナラ、下草木に、エゾノユズリハ、アオキ、ツルシキミ、フッキソウ、ハイヌガヤなどと仲良く暮らしています。近年訪れる旅人が多くなり人気スポットの一つになっているようです。頂上までは結構きつい登りが続きます。「クマ」にご用心。この山塊にはクマがいます。人が襲われた話は聞いたことがありません。きっと親切なクマさんだと思います。距離を置いて接すれば仲良くできると思います。山に入る時は山に挨拶をするときっといいことがあると思います。自分はそうしています。たまには忘れる時もあります。

<ブナ科>



ブナー考；

ブナと言えば「自然保護」の代名詞。特に白神山地が世界遺産に登録されたことにより、さらに顕著になり現在に至る。この山塊にもブナの森があります。他の地域と違う点は純然たるブナの森ではなく、針葉樹、落葉樹等の混交林となっており樹高、幹周り等も高く、太いことが特長の一つに挙げられます。また、「小影山」、「行太の森」、「小行太」、いわゆる白岩岳山麓、とりわけ「抱きがえり溪谷」周辺に見られる植生は特異なものがあると思います。

専門的な分野は他の皆さんに委ねるとします。

